



介護キャラ紹介
愛知の「パオーンかいぞう」
くん

「社会保障の解体は許さない！介護保険制度の抜本改善を！！」
STOP！介護改悪 介護ウェーブ2014推進ニュース
-介護の“Big Wave”を広げよう！-

厚労省の重大ミス（コピペ問題）で参議院厚労委員会が延期！

このまま時間切れに追い込もう！



医療・介護総合法案は5月14日の衆院厚労委員会での強行採決、翌日の本会議採決を経て衆院に移されましたが、厚労省の重大ミス（コピペ処理のため関係の無い一文が提案文書に混在）があり、21日の参院本会議で予定していた趣旨説明・質疑応答ができず、6月2日まで先送りとなりました。2日に予定されていた公聴会（山田副会長が発言）も延期になりました。



そのため、5月27日から組まれていた厚労委員会は、本会議後6月3日以降にずれ込むことになりました。残された会期内で非常にタイトな審議日程となるため、19本もの法律「改正」を一括化した法案に対して十分な審議ができるのが改めて大きな争点となっています。

5.28 国会議員要請行動&院内集会



5月28日午前中は、地域ごとに分かれて議員要請行動を行いました。

午後からは、中央社保協と共同で、緊急院内集会在開催されました。全体で120名の参加でした。

冒頭で、小池晃参議院議員（日本共産党・元民医連医師）より国会情勢の報告をうけました。

「医療・介護総合改革推進法案は介護保険の歴史上の大改悪だ。要支援

については、そもそも要介護との明確な区分がなく、さじ加減ひとつで変わってしまう。地域による認定結果の格差もある。また、要支援外しのために、地域ケア会議で「介護保険からの卒業」という名目の追い出しが行われている。特養の入所を中重度化限定にする目的は、特養に入りきれない人を数字上減らすこと。そもそも待機者が多いのは、国民の貧困がすすんだ証拠であり、お金がないから特養しか選択できないことを問題とするべきだ。医療についても安倍首相は7：1看護の病棟を目の敵とし、18万床まで削減しようとしている。今でも看護師は足りていない状況。病院機能の再編も患者の診療の自由を奪うフリーアクセスの破壊に他ならない。

今後、参議院の公聴会に民医連から山田智副会長にも出席してもらおう。参議院の審議入りが遅れたことにより解雇や労働時間のルール見直しをすすめるようとしている労働法制の改悪はほぼ廃案が決まり、医療・介護総合改革推進法案の廃案も含めて、“完全勝利”を目指すためにもぜひ、連日国会へ大波のように押し寄せていただき、医療介護総合改革推進法案の廃案を目指して一緒にがんばりましょう」と訴えられました。

参加者からの発言では、**新日本婦人の会・大阪本部**から、「大阪では貧困と格差がすすみ、65歳女性のくらしのアンケートを実施、消費税もあ

北海道	8,368
青森	3,716
岩手	1,869
宮城	2,491
秋田	675
山形	5,276
福島	241
茨城	1,667
栃木	375
群馬	2,292
埼玉	12,002
千葉	4,138
東京	16,999
神奈川	7,157
新潟	2,779
山梨	2,939
長野	10,619
富山	1,999
石川	1,379
福井	3,770
岐阜	4,354
静岡	1,569
愛知	3,052
三重	515
滋賀	1,828
京都	6,708
大阪	19,426
兵庫	1,666
奈良	5,241
和歌山	1,059
鳥取	4,137
島根	1,344
岡山	9,919
広島	2,101
山口	1,427
徳島	2,296
香川	746
愛媛	2,822
高知	2,862
福岡・佐賀	6,635
長崎	2,917
熊本	2,035
大分	2,505
宮崎	1,321
鹿児島	3,864
沖縄	1,988
	1,112
合計	186,200

署名は186200筆に！
今国会中に、残らず出し切ろう。手元にある署名は事務局までどんどん送ってください。



がって、このままでは生きていけない！という声が寄せられました。法案の中身を知らない人も多く、学習会を行っています。総合法案の廃案を目指して FAX での訴えも行っていきます。」

共同組織含め9名が参加した福岡民医連からの報告では、「1日の参加ではとてももったいないので、前日の国会前座り込みから参加しました。要請行動では議員がどのような発言をしているのか興味がありましたし、訴えれば必ず理解してくれる人がいるはずだと



思っています。福岡の要介護2の利用者さんが、自分は介護保険から外される対象となるのかと、市へ問い合わせたところ、担当者から、まだわかりませんと回答されたと聞かされ、これは本来なら国の責任のはずなのに、と思いました。」



千葉の杜保協からは、「房総半島で安倍の暴走を止める」とりくみとして、4.24 ヒューマンチェーンの呼びかけ人の1人である花の谷クリニック伊藤真美先生主催で、亀田医療大学の方や地域の方含めて7名で懇談しました。アベノミクスをもじって、「アベ No Thank You」ステッカーを作成しました。」



長野民医連からは、「これまで4回国会行動へ参加しましたが、最初はどこも冷たい対応でしたが、だんだんと自民党の議員も含めて話を聞いてくれるようになっていきます。」

議員要請行動に参加して 連続で国会行動に参加している宮城の参加者から♪



宮城から参加のみなさん

ケアマネジャー、社会福祉士、事務、看護師、理学療法士と県連担当者6名での参加でした。宮城県連事務局の田中さんから、参加のみなさんの感想も含めてうかがいました。

「議員には会えませんでした。現場で出会う日々の矛盾や必要な制度を受けられない人びとの思いを届けるために頑張っていて、みんな、自分の言葉で語る事ができました。特に被災地である宮城では、医療費免除が打ち切れ、その後一部しか復活されていません。受診の抑制も再び起こっており、震災被害にあった人に関わる私たちの役割を意識しました。また、全国から、こんなにたくさんの民医連の仲間が集まっていることも心強く、勉強になりました。」お疲れさまでした！

今後の介護ウェーブのとりくみ

○参議院厚生労働委員会の傍聴

6月3日(火)・5日(木)・10日(火)・12日(木)それぞれ10時～と13時～です。

*傍聴券の発行のために事前登録が必要です。全日本民医連通達第ア-101号(5月28日)に傍聴登録用紙がついていますので、ご確認ください。

○国会前座り込み

毎週火・木曜日です。衆議院第二議員会館前で10時～15時です。

○国会議員要請行動

6月4日(水) 10時30分～14時30分 参議院議院会館 B107

6月11日(水) 10時30分～15時30分 衆議院第2議員会館 多目的会議室1階

FAXでの抗議も引き続き続けよう！

長野では、500通の抗議FAXを各議員に送りました。まだまだ、集まってきているそうです。千葉では、FAX要請行動以外にも、「わたしのひとことカード」を書いてもらって、国会行動に参加する職員に託し、「秘書でもいいから渡してこよう作戦」を準備中だそうです。

声は届いています！各事業所でとりくみ、国会議員へ送りましょう！



日差しが強くなってきました。雨も降ります。帽子や傘の準備も忘れずに♪



今後の国会スケジュール (予定)

これまでに、みんなの力で、審議を10日以上遅らせることができている。今後、1日でも予定通りに審議が進まければ廃案に追い込むことができます。引き続き力を合わせてがんばりましょう！

6月2日(月) 14時～ 参議院本会議で趣旨説明&質疑

6月3日(火) 10時～ 参議院厚労委員会で審議開始(毎週火・木曜日)

6月16日(月) 中央公聴会*で、山田副会長が意見陳述予定(*法案審議のために国会議員が関係者に意見を聞く場)

6月中旬に 参議院本会議で採択が狙われています！！

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：訴佐・吉澤

☎ 03-5842-6451 / fax 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp